

# お夏清十郎物語

360年前に姫路で起こったとされる恋愛事件を脚色した「お夏清十郎」物語。悲しいストーリーは、その時代に合わせた本や舞台、映画になって世に広まり、人々の涙を誘ってきた。「ゆかりの地」は、今なお姫路に残り、静かな年月を刻んでいる。



坪内逍遙の舞踊劇「お夏狂乱」でお夏を演じる6代目上梅幸。1930年(昭和5)年6月、東京劇場で(国立劇場蔵)

## 物語に描かれたお夏清十郎

お夏清十郎をモデルにした「姿姫路清十郎物語(すがたひめじせいじゅうろうものがたり)」は、井原西鶴の恋愛小説集「好色五人女」の冊。1686(貞享3)年はやり歌やつわさ話を元に5人の女性を描いた恋愛小説の第1巻として発表した。

物語の主人公は、姫路の商家・但馬屋で働く室津出身の清十郎と但馬屋の主人・九右衛門の妹・お夏。手代の清十郎にお夏が恋をする。人目を忍んで結ばれた二人は駆け落ちに失敗。清十郎は、店の金を使い込んだという疑いまで受け、そのまま死刑になる。

物語のクライマックスは、お夏が夜な夜な清十郎の面影を探して町をさまよう場面。清十郎を失った悲しみのあまり「狂乱」したのだという。

いちずな恋に生きようとしたお夏の姿は、小説のみならず舞台にもなっている。自由な恋愛が許されなかった当時の世相を背景に共感を呼んだ。1707(宝永4)年には、近松門左衛門が「おなつ清十郎五十年忌歌念仏」を人形浄瑠璃で発表。思い悩む二人の様子や悪役・勘十郎を交えた殺傷事件などのエピソードを新たに加え、人気を博した。お夏を但馬屋の妹から娘に、清十郎を室津から泉州(現在の大阪府)出身に、それぞれ置き換えたところも西鶴の筋書きと異なる。

人気を受け、ヒットが期待できる「お夏清十郎もの」は、浄瑠璃や歌舞伎界の大ジャンルとして確立。ほかに多数の演目があるようだが、ストーリーは次第に政治・社会色が濃くなり、悲恋から遠ざかっていったようだ。

た。坪内逍遙の舞踊劇「お夏狂乱」では政治・社会色が影を潜め、再び悲恋を前面に打ち出している。宝塚歌劇団でも1920(大正9)年に「お夏笠物狂」を初演。昭和になると、映画作品も誕生する。

映画では、1954(昭和29)年公開の「歌ごよみお夏清十郎」がヒット。お夏を演じた美空ひばりの歌声と歌舞伎俳優から転身した清十郎役・市川雷蔵の立ち回りが見どころだ。ストーリーには、狂乱も刑死もない。あくまで娯楽性を重視した作品として知られる。

事件後に「はやり歌」として姫路で生まれ、播州の花柳界が唄い継いできたのが民謡「菅笠節」。清十郎を失ったお夏の様子をモチーフにした「向こう通るは清十郎じゃないか。笠がよく似た菅笠が」の歌詞で今に伝わる。

近年は、映画化や舞台化などお夏清十郎をリメイクする新たな動きはないに等しい。もはや「悲恋」で共感を呼ぶことが、難しくなっているのだろうか。

## 姫路に残るゆかりの地

姫路・野里の慶雲寺(野里慶雲寺前町)には、二人の供養塚「お夏清十郎比翼塚」が残る。もともと「おなつ清十郎事聞書」にも記されている久昌庵にあったものだ。後に隣の光正寺へ移り、さらに慶雲寺へ場所を変えた。

住職の山本守道さんは「お夏清十郎の映画や舞台があると、出演する俳優らが手を合わせに来た。小学生の頃には、映画のヒット祈願に訪れた美空ひばりと写真を撮った」と振り返る。

そんな比翼塚も今では訪ねる人が少なくなり、ときどき観光客が立ち寄るくらいだという。やはり現代に「悲恋」は、はやりないらしい。

とはいえ、創作の世界が生き生きと描く二人の姿が人々の記憶に残り、360年前の恋愛事件が現代まで伝わっている事実は興味深い。地元では、毎年8月9日に開かれる「お夏清十郎まつり」(主催「お夏・清十郎顕彰会」)が夏の風物詩として1949(昭和24)年から続く。

祭りは、今年が68回目。有名な「姫路お城まつり」よりも歴史が古い。ゆかりの地と合わせて訪れれば、「お夏清十郎」を後の時代へ伝えるきっかけにできるかもしれない。



お夏清十郎まつりの様子。二人の扮装(ふんそう)も見られる。 ※写真提供/ひろーき

「事件」は本当にあったのか?

幕末期の姫路藩士・福本勇次が書いた「村翁夜話集」のページをめくると、「おなつ清十郎事聞書」という短い聞き書きを読むことができる。

聞き書きは「お夏清十郎」事件を史実としている。清十郎は室津出身で、事件の舞台も但馬屋。西鶴の物語と同じだ。方、但馬屋主人の名前は九「左衛門。西鶴の九右衛門とは異なり、近松の浄瑠璃と致する。

1659(万治2)年6月、店を追われた清十郎は、仕返しに九左衛門へ斬りつけて逃亡。後に捕まり、船場川にかかる一枚橋東の河原で打ち首になったという。

お夏については、後に小豆島に嫁ぐとあるだけで、清十郎との関係を明らかにしていない。とはいえ、わざわざお夏の「その後」に触れているあたりは、何らかの関係を暗示しているものと考えていいだろう。

清十郎の墓は、野里「久昌庵」の裏にあるとしている。

## 「お夏清十郎」の今

明治維新をきっかけに西欧文化が身近になると、「お夏清十郎もの」にも新たな作品が生まれるようになって



お夏清十郎がモチーフの歌舞伎「恋相撲和合會我(こいずもうやわらぎそが)」。初演は1841(天保12)年。ふすま絵に描いたのは初代・歌川国貞(国立劇場蔵)



1) お夏の生家・但馬屋跡を伝える案内板。姫路市本町の藤森病院前にある。 2) 慶雲寺境内に建つ「お夏清十郎比翼塚」。 3) もと比翼塚があった光正寺の玉垣には歌舞伎俳優の名前が見える。 4) 慶雲寺住職・山本守道さん